ニューファインコート工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**

平場：ニューファインコート工法（密着工法　平均厚５㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | ダブルテックスＮＥＯ | ０．８kg |
| ハイステッププライマー  （アスコン下地） | ０.３㎏ |
| プライマーＰＷ－Ｆ  （コンクリート・モルタル下地） | ０.１５㎏ |
| ２ | ニューファインコート・ゼロ | ２.０㎏ |
| ３ | ニューファインコート・ゼロ | ２.０㎏ |
| ４ | ニューファインコート・ゼロ | ２.５㎏ |
| ５ | ハイステップコート（粗面仕上げ） | 1. ２５㎏ |

**使用材料一覧**

| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| --- | --- | --- | --- |
| ダブルテックスＮＥＯ | ２０㎏／缶 | 主材：Ａ液：Ｂ液：水＝  １４：５：１：０～０.８ | ３成分形エポキシポリマーセメント |
| ハイステッププライマー | １６kg／缶 | － | １成分形ウレタン系プライマー（溶剤系） |
| プライマーＰＷ－Ｆ | １２㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　６㎏／缶 |
| ニューファインコート・ゼロ | ３０㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形ウレタン舗装材 |
| 主　剤　１２㎏／缶  硬化剤　１８㎏／缶 |
| ハイステップコート | １６㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（溶剤系） |
| 主　剤　　４㎏／缶  硬化剤　１２㎏／缶 |
| ダイフレックス  粗面仕上げ材 | ０.５㎏／箱 | トップコート１セットに対し１袋添加 | 粗面仕上げ用骨材 |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| ニューファインコート工法 | |
|  |  |
| 下地確認・下地清掃 | |
|  |  |
| ダブルテックスＮＥＯ塗布 | |
|  |  |
| ハイステッププライマー  プライマーＰＷ－Ｆ塗布 | |
|  |  |
| ニューファインコート・ゼロ　塗布（１層目） | |
|  |  |
| ニューファインコート・ゼロ　塗布（２層目） | |
|  |  |
| パッチング（凹凸・不陸修正） | |
|  |  |
| ニューファインコート・ゼロ　塗布（３層目） | |
|  |  |
| ハイステップコート（粗面仕上げ）吹付け | |

**施工要領**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １-1 | ダブルテックスＮＥＯ塗布　（開粒アスコン下地の場合） |
| 下地処理確認後、良く清掃し、主材・Ａ液・Ｂ液からなるダブルテックスＮＥＯを水を添加し、規定の配合で混合攪拌しローラー、刷毛、コテ、ジュラクガン（ノズル口径５～６ｍｍ、コンプレッサーは２馬力以上）等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| １-2 | プライマー　塗布　（コンクリート下地の場合） |
| ハイステッププライマーまたは主剤・硬化剤からなるプライマーＰＷ－Ｆを規定の配合で混合攪拌し、ローラー等の工具で規定量を均一に塗布する。 |
| ２ | ニューファインコート・ゼロ　塗布（１層目） |
| 主剤・硬化剤からなるニューファインコート・ゼロ　を規定の配合で混合攪拌し、専用レーキ・コテ等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| ３ | ニューファインコート・ゼロ　塗布（２層目） |
| 主剤・硬化剤からなるニューファインコート・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、専用レーキ・コテ等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| ４ | パッチング（凹凸・不陸修正） |
| 施工面全面に散水をして水たまり部をマーキングする。  表面乾燥後、マーキングした部分に材料を流し３ｍ程度の定規（金属アングル）・コテ等を使用し、平滑な面を作る。 |
| ５ | ニューファインコート・ゼロ　塗布（３層目） |
| 主剤・硬化剤からなるニューファインコート・ゼロ　を規定の配合で混合攪拌し、専用レーキ・コテ等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| ６ | ハイステップコート（粗面仕上げ）吹付け |
| 主剤・硬化剤からなるハイステップコートとダイフレックス粗面仕上げ材を規定の配合で混合攪拌し、ペイントタンクガン・エアレスガン等の工具で規定量を均一にムラ無く吹付けを行う。 |
| ７ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |